

2025年度第8回 J A北海道厚生連 帯広厚生病院倫理審査委員会 会議の記録概要

倫理審査委員会 事務局

開催日時	2025年11月6日（木）
開催場所	書面開催
審査委員名	高村 圭「委員長」、加納 崇裕、山内 英智、宮本 憲幸、吉田 晃 鈴木 千波、鈴木 淳、山根 邦子 外部委員：北村 延夫、岩田 明子
委員数	審査委員数：10名／全委員数：10名
審議課題：審議結果を含む主な議論の概要	

研究課題番号	2025-089
審議案件名	患者報告型アウトカムを用いた緩和ケアチームにより提供される専門的緩和ケアの質の評価のための多施設調査
実施責任者	看護部 小田島 綾子
審議内容	【迅速審査】 本件は、緩和ケアチームにより提供される専門的緩和ケアの質の評価を目的とした前向き観察研究である。 本研究は、日常診療内で研究対象者へ問診を行うが、対象が成人患者であることから迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2025-090
審議案件名	遺伝性神経疾患の遺伝子解析と病態解明ならびに治療法、予防法の開発に関する研究
実施責任者	脳神経内科 副院長 保前 英希
審議内容	【迅速審査】 本件は、遺伝性神経疾患の遺伝子解析と病態解明ならびに治療法、予防法の開発に関する研究である。 本研究は、同意を得られた患者に対し研究に必要な検査を日常診療内で行うが14ml程度の一般採血のみであり、侵襲性は少ないことから、迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2025-091
審議案件名	SP263によるPD-L1発現状況（TAP）検査結果の提供目的の臨床研究
実施責任者	内視鏡室 主任部長 松本 隆祐
審議内容	【迅速審査】 本件は、SP263によるPD-L1発現状況の評価を目的とした前向き観察研究である。 本研究は、同意を得られた患者に対して保存された組織標本で研究に必要な追加検査が可能であり、患者負担やリスクには影響がないことから迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2025-092
審議案件名	RAS遺伝子野生型で化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対するmFOLFOX6 + ペバシズマブ併用療法とmFOLFOX + パニツムマブ併用療法後の外科的切除における予後因子の解析
実施責任者	内視鏡室 主任部長 松本 隆祐
審議内容	【迅速審査】 本件は、化学療法未治療の切除不能進行再発大腸癌患者に対する外科的切除における予後因子の解析を目的とした後ろ向き観察研究である。 本研究は、既存情報のみを用いて実施する学術研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2025-093
審議案件名	限局性腎細胞がんに対する術後再発因子の検討
実施責任者	泌尿器科 主任医長 山田 修平
審議内容	【迅速審査】 本件は、限局性腎細胞がんに対する術後再発因子の検討を目的とした後ろ向き観察研究である。 本研究は、既存情報のみを用いて実施する学術研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した。
審議結果	承認

研究課題番号	2025-094
審議案件名	AI技術を用いたPD-L1高発現非小細胞肺癌の腫瘍微小免疫環境の解析（HOT2503）
実施責任者	呼吸器内科 主任部長 菊池 創
審議内容	<p>【迅速審査】</p> <p>本件は、PD-L1高発現非小細胞肺癌の腫瘍微小免疫環境の解析を目的とした後ろ向き観察研究である。</p> <p>本研究は、既存情報のみを用いて実施する学術研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した。</p>
審議結果	承認
研究課題番号	2025-095
審議案件名	高齢者における大腿骨近位部骨折における術前の下肢静脈超音波検査を用いての深部静脈血栓症の検討
実施責任者	麻酔科 菊地 智春
審議内容	<p>【迅速審査】</p> <p>本件は、大腿骨近位部骨折術後の深部静脈血栓症検討を目的とした後ろ向き観察研究である。</p> <p>本研究は、既存情報のみを用いて実施する学術研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した。</p>
審議結果	承認
研究課題番号	
審議案件名	肺左上葉切除術後の血栓予防のプロトコルの有効性の検討
実施責任者	麻酔科 橋本 滯
審議内容	<p>【迅速審査】</p> <p>本件は、肺左上葉切除術後の血栓予防プロトコル有効性の検討を目的とした後ろ向き観察研究である。</p> <p>本研究は、既存情報のみを用いて実施する学術研究であり、研究対象者の安全性を脅かすことはないことから迅速審査と判断した。</p>
審議結果	承認